

公益財団法人大阪陸上競技協会  
第2期 事業計画  
(2022年4月1日～2023年3月31日)

本会は、本年度に創立100周年を迎える。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各種競技会、大阪マラソンなどにおいて大幅な事業計画修正が余儀なくされるなど重大な影響を被った。

本会は、陸上競技を通じてスポーツ文化の普及及び振興を図りもって府民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を涵養することを目的としている。本目的を達成するため、感染症への対応など社会経済環境の変化に的確に対応していくとともに、次の各事業を一連且つ相互に補完する事業として実施する。

とりわけ、陸上競技の普及及び発展を図るために大阪マラソン、大阪アスレチックスアカデミア事業を始めとする一般府民が参画できる幅広い普及活動や関連事業を推進していく。また、第二期OSAKA夢プログラム事業など育成、強化事業を推進し競技者の競技力の向上を図っていく。

これら事業を着実に推進していくため組織基盤の充実を図るとともに各事業の相互連携を図り、各事業を関連付け一体的に実施していくこととする。

## 1. 陸上競技に関する諸計画の実施及びその技術指導等に関する事業

当協会は2022年度において、別添「2022年度大阪陸上競技協会が関係する競技会」表及び「2022年度大阪陸上競技協会競技会日程表」の通り、主催・主管・共催競技会も含めた大阪府内で実施される全ての競技会に役員、審判員の派遣し技術指導を行う。

2022年度の主催競技会である「大阪陸協加入クラブ対抗陸上競技大会」では、女子の参加を積極的に推進するため内容変更を行う。また「長距離記録会」の実施時期・回数を見直し、低迷気味である長距離の記録向上を目指す。

次の競技会を重点競技会とし、当協会の総力をあげて実施し、IT機器、音響、映像の活用により、質の高い運営や技術の向上を図っていく。

- ・GP第9回木南道孝記念陸上競技大会
- ・第106回日本陸上競技選手権大会
- ・第38回U20日本陸上競技選手権大会
- ・第90回大阪陸上競技選手権大会
- ・2022年度大阪陸協加入クラブ対抗陸上競技大会
- ・第42回大阪国際女子マラソン
- ・2023大阪ハーフマラソン
- ・第106回日本陸上競技選手権大会・室内競技
- ・第11回大阪マラソン

2022年度競技規則修改正の周知については、新型コロナウイルス感染症まん延防止の観点から、昨年同様継続審判員に対しては講義式の講習を中止し、質問形式での回答を持って受講とする。

2022年度実施の「大阪国際女子マラソン」「大阪マラソン」においてコース変更が予定されており、競技委員会施設用器具部所属の公認コース検定員により公認コース申請の為の走路計測を行う。

## 2. 陸上競技会の主催、運営等に関する事業

### (1) 国内競技会

#### 1) 第106回日本陸上競技選手権大会・第38回U20日本陸上競技選手権大会

本大会は「オレゴン2022世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技会」であり、昨年の実績を活かし、競技者が好記録を輩出できるスムーズな競技運営を目指す。また、公共放送により全国

に映像配信を行う。

#### 2) 第90回大阪陸上競技選手権大会

新型コロナウイルス感染症の影響により過去2年間は大阪登録者のみの参加としており、本年も引き続き踏襲するが、大阪の選手権者を決める大会として競技者が最大のパフォーマンスを発揮できる大会を目指す。

#### 3) 2022年度大阪陸協加入クラブ対抗陸上競技大会

昨年まで1つであった女子の種別を2つに分け、より参加しやすい形で実施する。また、表彰者選定作業が複雑で手間を取っていた「シニア選手権」を廃止する。

#### 4) 2023大阪ハーフマラソン

日本陸連登録の部の男子は年々記録向上が見られ、今年度も積極的に選手招聘を行い国内トップレースを目指す。女子も上位入賞者が次年度の大阪国際女子マラソンへの準招待となることから、同様の招聘を行い、レベルアップを図る。

#### 5) 第106回日本陸上競技選手権大会・室内競技

日本国内唯一の室内競技会であり、シニアからU16までの各世代のトップアスリートを集めシーズン幕開けの大会として運営する。

### (2) 国際競技会

#### 1) GP第9回木南道孝記念陸上競技大会

今年度から2日間開催とし男女の混成競技を加える事とした。国際陸連ブロンズクラスの競技会として格付けを取得するとともに、特に本年は9種目で杭州アジア競技大会の選考種目に指定されており、競技力の高い選手招聘を行いレベルの高い競技会を目指す。また、昨年度から実施しているライブ配信も継続して実施する。

#### 2) 第42回大阪国際女子マラソン

ジャパンマラソンチャンピオンシップ(JMC)シリーズでグレード1(G1)にふさわしい競技運営を行い、世界に羽ばたくランナーの輩出を期す。今年からコース変更が余儀なくされているが、記録が期待できるコース設計に取り組む。

#### 3) 第11回大阪マラソン

前回大会からエリート部門が加わり世界水準の都市型市民マラソンとなった。一方、大阪の名所を巡るコース設計の為、折り返しが多く記録達成への弊害が見られるため、コースの再検討を行う。さらに新型コロナウイルス感染症の影響でかなわなかった外国選手の招聘も積極的に進める。また、第11回大会に合わせて「AIMS総会大阪2023」を大阪に招致する。本総会の開催を円滑にしていいため、大阪府、大阪市と実行委員会を組織し、大阪の都市魅力を発信するなど親善、友好活動を推進していく。

### 3. 陸上競技会に対する役員及び競技者の派遣に関する事業

国民体育大会や全国都道府県対抗男子駅伝など2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、いくつかの競技会が中止になった。2022年度は各競技会に向けて大阪代表として相応しいレベルの代表選手を選考し、派遣する。

#### (1) 主な競技会への監督・コーチ・選手派遣

##### ① 第77回国民体育大会(2022年10月6日～10日:栃木県総合運動公園)

・天皇杯(男女総合優勝)と皇后杯(女子総合優勝)獲得を目指す。

##### ② 皇后盃 第41回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会(2023年1月15日:京都府西京極総合運動公園)

・皇后盃(総合優勝)を目指す。

##### ③ 天皇盃 第28回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会(2023年1月22日:広島県平和記念公園)

・上位入賞を目指す。

(2) その他の競技会への監督・コーチ・選手派遣

- ①第75回全国高等学校陸上競技対校選手権大会(2022年8月3日～7日:徳島県鳴門・大塚スポーツパーク)
- ②第49回全日本中学校陸上競技選手権大会(2022年8月18日～21日:福島県あづま総合運動公園)
- ③“日清食品カップ”第38回全国小学生陸上競技交流大会(2022年8月20日:神奈川県日産スタジアム)
- ④第106回日本陸上競技選手権大会・リレー競技(2022年10月1日～2日:会場未定)
- ⑤第16回U18/第53回U16陸上競技大会(2022年10月21日～23日:愛媛県総合運動公園)

4 陸上競技指導者等の表彰に関する事業

公認審判員活動、競技者指導、競技活動等の実績を踏まえ、審判員、競技者、指導者等の表彰を実施する。

(1)大阪選手権大会において、次の表彰を行う。

①公認審判員、指導者等の表彰

- ・大阪の陸上競技界において、長年功績のあった公認審判員に対して経歴、実績を評価し「功労賞」を授与する。
- ・大阪登録のジュニア競技者の育成に顕著な功績のあった中学校、高等学校の指導者に対して、「優秀指導者賞」を授与する。

②競技者の表彰

- ・大阪新記録、同タイ記録の樹立、日本選手権大会等の全国的な競技会の優勝などの功績を残した競技者に対し「勲功章」を授与する。

③その他の表彰

- ・弊会登録競技者が世界記録・アジア記録を樹立したときには、競技者・指導者を表彰する。

(2)創立100周年記念表彰

創立100周年にあたり、以下の表彰を行う。具体的な表彰対象等は、準備委員会において審議し、理事会において決定する。

- ①本会の事業等において功労のあった審判員、競技者、指導者、寄付者、協賛社、関係団体、報道機関、役員、評議員、顧問、参与、加入クラブ、外部功労者等に対するもの
- ②本会の事業に関して、特別の功績、功労のあった個人、団体に対するもの

5. 陸上競技選手等の育成・指導に関する事業

(1)強化事業(競技者の育成)

国内3大競技会(国民体育大会、全国都道府県対校女子駅伝・男子駅伝)での総合優勝を目指すとともに、明日を担うジュニア(中学生・高校生)の強化育成を図る。

- ①女子長距離夏季強化合宿(2022年7月中旬:岐阜県御岳高原高地トレーニングエリア)
- ②男子長距離夏季強化合宿(2022年7月27日～29日:岐阜県御岳高原高地トレーニングエリア)
- ③小学生中学生合同練習会(2022年7月下旬、2023年2月中旬:万博記念競技場)
- ④国体強化合宿(2022年8月29日～31日:滋賀県水口スポーツの森)
- ⑤国体強化練習会(2022年9月19日:ヤンマーフィールド長居)
- ⑥強化選手<中学生・高校生>練習会(2022年12月10日、2023年2月19日:万博記念競技場)

- ⑦ 高体連強化育成練習会（2022年12月25日・26日・27日：ヤンマーフィールド長居）
- ⑧ 冬季大阪ジュニア陸上強化合宿（2022年12月26日～28日：和歌山県紀三井寺陸上競技場）
- ⑨ 男子駅伝チーム合同練習会（2022年12月～2023年1月、数回：長居公園、金岡公園）
- ⑩ 女子駅伝チーム年末合宿（2022年12月29日～30日：京都府・駅伝コース）
- ⑪ 女子駅伝チーム試走合宿（2023年1月4日～6日：京都府・駅伝コース）
- ⑫ 男子駅伝チーム試走（2023年1月4日：広島県・駅伝コース）
- ⑬ 冬季強化合宿（2023年1月4日～7日：鹿児島県ジャパニアスポーツトレーニングセンター大隅）
- ⑭ 中体連強化選手練習会（2023年1月22日、2月12日、3月5日、3月19日：万博記念競技場）
- ⑮ 春季大阪ジュニア陸上強化合宿（2023年3月27日～29日：和歌山県紀三井寺陸上競技場）

## （2）指導者の育成

日本陸上競技連盟が2020年度に策定した「指導者養成指針」に従って指導者の養成に努め、有資格者（日本スポーツ協会および日本陸上競技連盟公認スポーツ指導者）を増やしていく。

- ① 日本陸上競技連盟主催「JAAF公認コーチ<JSPO公認陸上競技コーチ3>」養成講習会へ相応しい指導者を推薦し、派遣する。
- ② 2022年度も「JAAF公認ジュニアコーチ<JSPO公認陸上競技コーチ1>」養成講習会を開催する。（2022年8月12日～13日：万博記念競技場）
- ③ 2022年度から始まる「JAAF公認スタートコーチ<JSPO公認スタートコーチ>」養成講習会を開催する。
- ④ 日本陸上競技連盟主催「エデュケーター<コーチ育成者>」養成講習会へ指導者養成担当者を派遣する。
- ⑤ 冬季大阪ジュニア陸上競技指導者研修合宿を開催する。（2022年12月28日～30日：和歌山県紀三井寺陸上競技場）
- ⑥ 近畿ブロック研修合宿へ指導者を派遣する。（2023年1月7日～9日：和歌山県紀三井寺陸上競技場）
- ⑦ 有資格指導者への情報発信、資格更新研修会を開催する。
- ⑧ 中学生・高校生の指導者対象に各種目別実技指導講習会を開催する。

## （3）大阪アスレチックスアカデミア陸上教室

大阪アスレチックスアカデミア事業は、幅広く一般府民を対象に陸上競技を通じたスポーツ文化の普及振興を図りもって府民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を涵養することを目的として、令和3年9月から試行的に実施してきた。50名の小学生を受講者として、心身の健全な育成を図るカリキュラム構成に意を用いた。また、保護者に対する子供たちの心と体の育成過程に関する教室も併催するなど試行的な取り組みを進めてきた。

令和4年度における本事業は、

- ① 陸上競技を通じて、生涯にわたりスポーツを楽しめ、健康維持・向上につながる場を提供する
- ② 小中学生が楽しく陸上競技を学べる場を提供する
- ③ アスリートとして自己の目標に挑戦する場を提供する
- ④ 陸上競技の普及と発展を図る

との4つの目標を達成していくため、幅広く府民を対象として令和4年度4月から毎月3回（毎木曜日18時～20時）、年間36回の教室をヤンマーフィールド長居・ヤンマースタジアム長居において大阪市の後援のもとに実施する。

具体的には、指導経験豊富な指導者10名を配置し、小学生1～2年生の部、3～4年生の部、5～6年生の部、中学生の部、障がい者の部に分け、運動を楽しんで体験できるよう、それぞれの発達や能力に応じた練習内容を検討し育成、指導していく。

また、一般府民・社会人、熟年者向けのランナー育成の部を設け、ジョギングを中心に楽しんでランニングし健康維持とその向上を目的としている方々のマラソンなど対して、本格的なレースにも臨んでいただけるように指導、支援する教室を開講していく。

本事業においては、参加者全員が陸上競技を楽しめ、スポーツ体験を通じ運動能力、競技レベルが向上できるように日々の練習内容を精査し、改良していく。

#### (4)第二期OSAKA夢プログラム事業

第一期事業は、オリンピック競技大会に地元大阪から代表を送り入賞やメダル獲得を目指して、在阪経済界や陸上競技愛好者などからの寄付金により、平成27年9月から開始した。

その結果、2020東京オリンピック競技大会には2名の代表競技者として送ることができた。しかしながら、本結果は、当初の本事業の目的を達成したとはいえ、わずかに男子短距離陣2名が選考されたにとどまり、事業開始以来6年間の間に育成してきた他の有力な指定競技者の本選考には至らない残念な結果となった。このため、第一期事業の反省を踏まえ、次期パリ・オリンピック競技大会に代表競技者を派遣しメダル獲得、入賞を目指すこととし、本年度から3年間の第二期事業を実施することとする。

#### (5)障がい者競技者指導、競技会への役員派遣

本年度は、大阪市障がい者スポーツ大会、大阪府障がい者スポーツ大会、大阪府視覚障がい者交流大会の大会運営を行うとともに、競技役員を派遣する。

また、大阪市長居障がい者スポーツセンターから障がい者競技者の育成、指導事業を受託し、ランニング教室を運営するとともに指導者を派遣する。

さらに、大阪府障がい者スポーツ教室、強化記録会及び強化練習会を開催し、指導者を派遣する。

全国視覚障がい者駅伝大会を主管し、競技役員を派遣し、全国障害者スポーツ大会（栃木県）に対して役員を派遣する。

### 6.その他この法人の目的を達成するために必要な事業

公認競技会の運営に係る登録競技者・公認審判員の登録、管理を行うとともに、陸上競技会に関する情報提供や広報事業を実施していく。

#### (1) 競技者・公認審判員登録管理等

過去2事業年度において、新型コロナウイルス感染症の影響によるマラソン大会等の中止、延期により登録競技者数が減少する中、更なる登録者の拡大を目指して登録事務を推進する。

公認競技会を運営する公認審判員の登録、昇格等公認審判員の管理を行うとともに、改正競技規則など審判知識や審判技術の向上を図っていく。

#### (2)大阪陸上競技年鑑の発刊及び広報事業の推進

令和4年度大阪陸上競技年鑑を編纂し、ホームページに公表する。本年鑑には、競技会情報、前年度の令和3年度競技成績、OSAKA夢プログラム事業などの主要事業の概要、法人の定款、組織、役員等の基本事項、陸上競技に関する大阪府関係受賞者などの情報を掲載する。

また、陸上競技及び弊会の事業を広く広報するため、ホームページや動画サイトを開設し、陸上競技関係者のみならず、陸上競技のファン、一般市民に情報がすばやく届けられるよう競技成績のタイムリーな公開、更には各競技会において一般府民が簡単にアクセスできるようスマートフォンへの展開も強化していく。

さらに、大阪マラソンでは日本放送協会、民間放送局による連携した中継放送を行うとともに、第9回木南記念陸上では、YouTubeによる生中継を実施し広く一般市民や陸上競技愛好者に情報を提供していく。

主要事業、主催競技会に関し新聞、放送局、専門誌等に対する資料提供やきめ細やかな情報発信などの広報活動を拡充していく。第二期OSAKA夢プログラム事業に関しては、広報誌「さくら咲く」を発刊し、寄付者、一般府民に広報していく。

### (3) 公認審判員の育成等

2022年度審判講習会は、4月10日ヤンマースタジアム長居、6月8日日本万国博覧会記念競技場において開催する。本講習会においては、国際陸連及び日本陸連競技規則の修正、改正に関する講習、実技指導を行う。また別途、新規公認審判員の認定講習を随時実施する。

AED操作講習会は、審判講習会の開催に合わせて実施する。

### (4) 創立100周年記念事業

本会は、本年度創立100周年を迎える。創立を記念して下記事業を実施する。

- ・ 記念式典(記念講演併催)
- ・ 研究集会(陸上クリニック)
- ・ 陸上教室の創設(再掲 大阪アスレチックスアカデミア事業)
- ・ 特別強化事業(再掲 第二期OSAKA夢プログラム事業)
- ・ 大阪マラソンの国際化(再掲 AIMS総会招致)
- ・ 木南記念陸上の国際化(海外競技者招致----入国制限措置等の緩和を踏まえ推進)
- ・ EXPO2025提携事業(段階的に検討を進める。)
- ・ 陸協ロゴマークの新設(類似商標調査等を実施し、商標登録を推進、会旗等の更新)
- ・ その他

<以上>2022.3.24 理事会可決